




4 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況


○小学校

【西 区】	・指扇小学校	・馬宮西小学校			
【北 区】	・東大成小学校	・大砂土小学校	・大宮別所小学校	・つばさ小学校	
【大宮区】	・大宮小学校	・大宮東小学校	・大宮南小学校	・桜木小学校	・上小小学校
【見沼区】	・大砂土東小学校	・見沼小学校	・大谷小学校	・島小学校	
【中央区】	・下落合小学校	・鈴谷小学校			
【桜 区】	・土合小学校	・栄和小学校	・田島小学校	・大久保東小学校	・中島小学校
【浦和区】	・高砂小学校	・常盤小学校	・仲本小学校	・北浦和小学校	・常盤北小学校
【南 区】	・南浦和小学校	・浦和別所小学校	・大谷場東小学校	・西浦和小学校	・文蔵小学校
	・沼影小学校	・大谷口小学校	・浦和大里小学校	・向小学校	・辻南小学校
【緑 区】	・三室小学校	・原山小学校	・野田小学校	・大牧小学校	・芝原小学校
	・美園北小学校				
【岩槻区】	・太田小学校	・川通小学校	・柏崎小学校	・和土小学校	・慈恩寺小学校
	・徳力小学校				

※中学校・特別支援学校の食育取組状況は P54～61

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など				
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)					成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地域の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容														
指扇小学校	たてわり(交流)給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 897人	実施日 学期1回(7月) 場所 教室 内容 集団で給食をとり、交流を図る	心身の発達の違いを認識し、それぞれの立場を理解し、協力して活動する態度を養うことができた。	教室移動があるため、十分な喫食時間がとれない。	12月、2月にも実施を予定していたが、学級閉鎖のクラスが出たため中止となった。
協働	(継続)	○											○										
指扇小学校	そらまめのさや取り、くわい芽取り体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 1年生、2年生、特別支援学級 1年生148人 2年生143人 特別支援15人	実施日 6月17日、12月13日 場所 教室 内容 給食で使用する「そらまめ」のさや取り、「くわい」の芽取りを行う	食材に触れる体験を通じて、食材を大切に扱い、食材への関心を深めることができた。	食材へ直接触れるため、かぶれる等、注意が必要。	給食室の手伝いをするなどで、給食をつくる人への感謝の気持ちを持つきっかけとなった。
協働		○											○										
馬宮西小学校	縦割給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 85人	実施日 1学期1回・3学期1回 場所 各教室 内容 縦割り班で給食を食べ、交流を深める。	異学年での喫食、給食の準備・片付け等を通して、互いに理解し、信頼し、助け合う気持ちを育てることができた。	教室移動などもあり、喫食・交流の時間の確保が難しい。	
協働	(継続)	○											○										
馬宮西小学校	野菜の皮むき等の体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 1～3年生 42人	実施日 1学期 場所 各教室 内容 給食で使用するグリーンピース・そらまめ・とうもろこしの皮むき等の体験する。	農家の方や調理する人の仕事を知り、農作物の旬や収穫に興味を持つことができた。	体験の日程が限られるため、学校行事との調整が必要。	
協働	(継続)	○											○										
馬宮西小学校	絵本とのコラボ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 85人	実施日 10月17日 場所 各教室 内容 本に出てくる食べ物を給食で提供し、給食の時間にテレビ放送で図書委員会による読み聞かせを行う。	図書と食育が連携することで、いろいろな場面で食に関する興味関心を持つ機会となった。	行事の多い季節であることから、日程の調整が難しい。	
協働	(継続)	○											○										
馬宮西小学校	交流給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 85人	実施日 2月 場所 多目的室 内容 1～5年生が6年生に卒業を祝い、感謝を伝えながら、給食の時間を過ごす。各学年が一日ずつ担当する。交流給食期間は6年生からのリクエスト献立を実施する。	異学年の交流で思いやりや感謝の心を育むことができた。 6年生のリクエストはその献立についての思い出なども含まれるので、他学年の食への興味を深める良い機会となった。	教室移動などもあり、喫食・交流の時間の確保が難しい。 6年生に「バランスの良い献立」への事前指導を行う時間を持ちたい。	
協働	(継続)	○											○										
東大成小学校	きゅうしよくしゅうしゅう	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 503人	実施日 2020年 1月14日(火) 場所 東大成小学校体育館 内容 栄養や給食メニューに関するクイズや調理員さんへの感謝、給食の片付けの仕方をお願い	調理員さんへの感謝の気持ちを伝えることができた。 給食のメニューの工夫を知り、職への関心が高まった。	寒い時期ということもあり、牛乳の残量が減らないため、継続して指導していく必要がある。	
協働	(新規)	○											○										


担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)										成果	課題	
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容															
大砂土小学校	野菜の下処理体験(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 1, 2, 3, 4年生 ○全4回 1年生233人 2年生219人 3年生247人 4年生237人	実施日 2019.6.5(水)4年空豆 2020.1.8(水)2年グリーンピース 2019.7.5(金)1年トウモロコシ 2019.12.9(月)3年くわい 場所 大砂土小学校 内容 給食で使用するグリーンピース、空豆、トウモロコシ、クワイの下処理体験	野菜を使用した給食の残菜が減った。 農家や調理する人の苦勞を知り、食べ物を大切にすることと感謝の気持ちを育むことができた。	体験で使用する野菜の安定した入手が難しい。いくつかの業者とあらかじめ打ち合わせをし、見通しを立てておく。	
大砂土小学校	給食試食会(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 児童の保護者 170人	実施日 2019.10.3(木) 場所 大砂土小学校 内容 給食や児童期の食事についての講話と給食の試食	「給食への理解が深まった」「子供の食事について気をつけようと思った」などの感想が多く聞こえた。	児童が食べている様子やかたずけている様子も見学できると良い。写真や映像で紹介することを検討する。	学校給食について(栄養価やアレルギー対応など)や、食育を進めるための体験学習について、パワーポイント等を使用して説明を行った。
大宮別所小学校	くわいの芽取り(新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 3年生、特別支援学級 130人	実施日 12月6日(金) 場所 教室 内容 給食で使用する「くわい」の芽取り体験	さいたま市の特産品「くわい」に触れ、郷土愛を深めるとともに、感謝して食べる心を深めることができた。	作業への物足りなさがある。	
つばさ小学校	給食集会(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 1～6年生 1175人	実施日 令和2年1月21日 場所 各教室 内容 食事のマナーについての劇、給食の残菜に関するクイズ、給食室の様子、調理員さんへのインタビュー、給食についてのお願	・残菜が多い献立を児童に周知したり、作る側の気持ちを伝えることで、残菜率の減少につながった。 一人ひとりが給食への関心を高め、感謝の心を育むことができた。	はしの持ち方や食べる時の姿勢など、食事のマナーについて今後も継続して指導していく。また家庭とも連携しながら取り組んでいく	
大宮東小学校	とうもろこしの皮むき体験(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 2年生 112人	実施日 2019/7/2(火) 場所 2年生の各教室 内容 とうもろこしの皮むきについての説明を聞いた後、体験活動を行う。体験に使用したとうもろこしを「蒸しとうもろこし」として全校に提供する。	皮付きのとうもろこしを見たことのない児童も多く、集中して意欲的に取り組むことができていた。 また、自分たちがむいたとうもろこしが給食に出たことで、達成感を得られたようで、普段は残食の多い学年だが、おかわりする姿も見られた。	各クラス、栄養士、調理員が入るようになっていたが、できれば全クラスの様子が見たいため、来年度は短い時間に各クラスを回れるよう工夫したい。	
大宮東小学校	お米の作り方(お米農家さんからの講話)(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 5年生 121人	実施日 2019/6/24(月) 場所 集会室 内容 学校にお米を納品して下さる「馬宮米部会」の方から、お米作りについての講話をしていただく。その後、給食を一緒に食べる。	身近な地域でも農業がおこなわれていることを知り、また、社会科で学んだ米作りに対する理解もより深めることができた。 給食も馬宮米を使用し、偏食・好ききらいの多い学年だが、残さず食べる意識も高まった。	講話の最後に、なぜ国産のものにこだわるかという部分を栄養士から説明するところでも、より児童の学びが深まる内容も話したい。	
大宮南小学校	体験活動を取り入れた食育の推進(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象 全児童・職員 806人×4回	実施日 ①2019年4月23日(火) ②2019年5月14日(火) ③2019年7月9日(火) ④2019年12月10日(火) 場所 本校 各教室 内容 体験活動(①グリーンピースのさやむき 2年 ②そら豆のさやむき 1年 ③とうもろこしのさやむき 3年 ④くわいの芽取り 4年)と使用した食材を取り入れた給食献立の提供	苦手なグリーンピースやそら豆を積極的に食べようとする姿が見られた。また、調理員さんの協力も得て体験活動を行ったことで、給食を作ってくれる人への感謝の気持ちも芽生えていた。	くわいの芽取りに関しては、埼玉県伝統野菜であることから、昨年は地元農家の方を講師としてお招きして、芽取りを行ったが、地元農家の方の高齢化やくわい生産の繁忙期と日程が重なっていることなどにより、今年度はお招きできなかった。	

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)										成果	課題	
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									成果	課題					
大宮南小学校	6年生オリジナル献立(家庭科)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 全児童・職員 806人×4回	実施日 2019年12月14日(木)、2020年1月20日(月)、2020年1月31日(金)、2020年2月25日(火) 場所 本校 内容 給食1食分の献立を考える(講義・演習)	家庭科の学習を生かして実践する機会があったことで、より実生活につながる学びになった。また、6年生の考えた給食を食べた下級生にとっても、給食に対する興味・関心が高まった。	食物アレルギーや価格との兼ね合いが難しいため、来年度は「和食の献立」と限定し、献立作成を行う予定である。	
桜木小学校	スマイルランチ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 全校児童 495人	実施日 12月5日 場所 教室 内容 各自弁当を持参し、縦割りグループで食事をすすめる。	楽しく会食する様子が見られた。異学年との交流ができた。	・弁当の日は学校給食の実施回数との兼ね合いがあり、必ず毎年実施できるとは限らない。	
桜木小学校	皮むき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 1年生 75人	実施日 7月1日 場所 教室 内容 どうもこしのなりたちについて学習し、皮むきを体験する。	・どうもこしの成り立ちを学ぶことができた。 ・どうもこしに親しみをもち、大切に食べようとする心が育った。	特になし	・トウモロコシに親しみをもって一生涯命皮をむく様子が見られた。
上小小学校	学校給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 1学年保護者 40人	実施日 2019年10月8日 場所 上小小学校 会議室 内容 栄養士から学校給食についての説明・成長期の食事についての講話。準備の見学。給食の試食を実施。	「給食は栄養以外にもいろいろ工夫がされていて、衛生など気を付けて作ってくれていることが分かった」「子供の食事について気をつけようと思いました」などの感想が多く、	参加していない保護者へのアプローチ方法も考える必要がある。 他学年の保護者も参加できるようにしたいが、食器や会場を考えると難しい。	
大砂土東小学校	野菜の皮むき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	2回 ①1年生180人 特学17人 ②2年生184人 特学17人	①4月26日 ②7月10日 大砂土東小 各教室 ①給食で使用するグリーンピースのさやむき ②給食で使用するとうもろこしの皮むき	児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。食への関心や給食に対する理解が深まった。		
見沼小学校	ぎょよく教育出前授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 小学5年生 68人	実施日 2019年9月10日 場所 多目的教室 内容 愛媛県愛南漁業協同組合の方を講師として招き、実際にカツオや真鯛などを見ながら、漁業や養殖について学習する。直接、魚に触れる体験活動もある。	この日の給食では、真鯛を使った鯛めしを提供。海のない埼玉県なので、漁業についてあまり身近ではないが、漁師さんの話を聞いたり、一本釣りの竿を見たり、動画を見たりすることで、楽しく漁業について学ぶことができた。		
大谷小学校	そらまめのさやむき	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 212人	実施日 2019年6月20日(木) 場所 各教室 内容 そらまめのさやむき	食べ物に対する興味、関心を高めることができた。 当日の給食に使用することで、体験活動と食をつなげることができた。	さやの割れ目を作る作業が難しい児童がみられた。	

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)					成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ をこめて	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題											
土合小学校	とうもろこし 皮むき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 1年生・特学 137人	実施日 2019年7月10日(水) 場所 1年生・特学の教室 内容 とうもろこしの説明をうけて、とうもろこしの皮むき体験活動を行う	初めてやる児童もいるので、とうもろこしの構造などを知ることができる。	学年で実施すると、たくさんあるようで意外と量が少ないので、物足りなさがある。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土合小学校	くわい芽とり 体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 特学 18人	くわいの生育が悪いため、実施できなかった。	さいたま市の特産物である、くわいを知り、どのようなときに食べられているものかなどを知ることができる。	みんなで一緒にやってしまったので少人数にわけてやるなど、少し細かい指導等ができるかもしれない。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土合小学校	そらまめさや むき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 3年生 154人	実施日 2019年5月17日(金) 場所 3学年教室 内容 そらまめの説明を受けて、そらまめさやむきの体験活動を行う。	初めて取り組む児童もいるが、絵本「そらまめくんのベッド」を知っている児童が多く、本で知ったまめの中の構造と比べるなど興味をもって取り組むことができた。	そらまめが出てくる時期が毎年異なるので、余剰時間が少ない中、実施学年の時間確保に手間取った。	
協働	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栄和小学校	児童が考えた 給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全児童・教職員 実施回数 5回 参加者数 1135人	実施日 2020年 2/4 2/13 2/21 2/26 3/4 場所 栄和小学校 内容 家庭科の授業で考えた献立を給食で提供する	6年生が考えた献立を提供することにより、同学年では食に対する理解が深まり、低・中学年では家庭科の学習に対する期待が高まった。	児童の思いを忠実に献立に反映させることと調理作業や価格とのバランスが課題である。	
協働	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栄和小学校	野菜の皮むき 体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 2年・3年 実施回数 2回 参加者数 2年170人・3年168人	実施日 2019年 6/12 7/10 場所 栄和小学校 内容 給食で使用するそら豆ととうもろこしの皮むき	児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。	行事予定と野菜の収穫時期を合わせることで時間の確保が課題。	
協働	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栄和小学校	交流給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全児童 実施回数 1回 参加者数 1125人	実施日 2019年 6/28 場所 栄和小学校 内容 異学年のペア児童と給食を食べ交流を深める	異学年のペア児童と給食を食べ交流することで互いを思いやり、好ましい人間関係を育てることができた。	移動時間の短縮のために運びやすい献立にした。そのため献立の内容が制限される。	
協働	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田島小学校	学校給食試 食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象: 1年生・転入生の保護者 45人	実施日 2019年10月10日(木) 場所 さくら草ホール 内容 田島小学校の給食への理解を求める。	給食への理解を求める説明を栄養士がした後に、給食の試食をしたことで、試食会への内容の理解がより深められ、保護者からも「給食の試食だけでなく、栄養面での工夫等を聞くことができてよかった。」などというアンケートの回答をいただくことができた。	食器の数や場所の関係で、限られた人数でしか実施ができない。	
協働	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)




担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)		成果									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題												
大久保東 小学校	野菜の 皮むき体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 1・2年生 特別支援学級 2回 1年生 121人 2年生 112人特 学 11人	実施日 2019年5月16日(木)、7月3日(水) 場所 各教室 内容 グリンピースのさやむき、とうもろこしの皮むき	食べ物への興味、関心が高まった。自分たちで作業することにより、野菜が苦手な児童もよく食べてくれた。	仕入れが天候等に左右されるため、実施日と合わせるのが難しい。	
中島小学校	家庭科「1食分の献立をたてよう」	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 6年生 80人	実施日 2019年11月12日(火)、15日(金) 場所 6年生教室 内容 給食の1食分の献立を考える(講義、演習)	1年生から6年生までが食べる給食の献立を栄養面、価格、彩、食べやすさなどを考えながらたてることができた。「1年生でも食べやすいように〇〇した。」などと食べる人のことも考えながら献立をたてることができた。	宿題等で自分がたてた献立を作ってみようという実践を取り入れればよかった。	
高砂小学校	絵本とのコラボ給食(ブックスランチ)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 全校児童 1000人	実施日 令和元年11月25日(月)～27日(水) 場所 高砂小学校 内容 学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 11月25日(月)おおいなるだいちぞく(昆布豆) 11月26日(火)やさぎかなののろい(さんまの塩焼き) 11月27日(水)はしれ！やきにくん(焼肉チャーハン)	本校児童が日頃から苦手とする食材を扱った絵本を活用して、給食の時間に教員や図書委員会の児童が読み聞かせを行った。普段とは違った角度から食に親しむきっかけになった。児童も苦手意識を改めて認識することで、克服しようとする意欲を高めている様子だった。	・喫食中にテレビ放送に集中するため、限られた給食の時間の中で適した絵本の選定が必要である。 ・よりよい給食指導につながるように、日報等を活用して事前に担任に詳しい情報提供しておく、より効果的である。	
高砂小学校	世界の料理	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 全校児童 1000人	実施日 令和元年10月～11月 場所 高砂小学校 内容 ラグビーワールドカップ開催にちなんで、対戦相手国の料理を取り入れて実施した。 9月19日(木)ロシア ポルシチ 9月26日(木)アイルランド コルカノン 10月3日(木)サモア カレモア 10月10日(木)スコットランド スコッチブロス	メディアの報道と相まって、ラグビーワールドカップへの関心、対戦相手国への興味が高まった。また、世界の食文化を味わうよいきっかけとなった。	・給食としてレシピ化されていない国の料理が多いことや、食材の扱いが限られていることにより、工夫が必要である。 ・よりよい給食指導につながるように、日報等を活用して事前に担任に詳しい情報提供しておく、より効果的である。	
常盤小学校	食育授業(8020歯の健康教室学級単位指導)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 本校5年生 148人	実施日 令和2年1月16日(木) 場所 さいたま市立常盤小学校 内容 かむことの大切さ	噛む回数により、味の違いを実感することができた。 また、よく噛むことの大切さ(「ひみこのはがいぜ」の評語を使用した指導・だ液の効果・食べ物の分解への関わり)も理解することができた。	最後に目標の設定を行ったが、その目標が達成されたかの振り返りがなかった。 事前準備に時間がかかり、教員側の負担が多かった。	
常盤小学校	食育授業	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 本校2年生 147人	実施日 令和2年2月4日(火)、7日(金) 場所 さいたま市立常盤小学校 内容 おやつを食べ方を考えよう	普段食べているおやつの特徴を知り、自分のおやつを振り返る機会となった。 また自ら食事を作る機会のない年齢なので、おやつを食べることをきっかけとして食事を選択する際考えて選択する必要があることを知る機会となった。	授業後、3日間おやつを取り方の目標を決め実践を行った。この期間はおやつので取り内容に気を付けることができた。一度の授業だけでなく年間指導計画を通し、振り返る機会を作るとより効果的である。	
仲本小学校	給食試食会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 児童の保護者 70人	実施日 2019.9.26(木) 場所 仲本小学校 第6学年教室 内容 児童の給食の準備、食事の様子を観、給食の準備、試食、片付け	児童の給食の準備、食事の様子を観、給食への理解が深まった。	参加希望者多数のため、しっかりとルールを決め、多くの保護者が体験してできるようにする。	栄養士が学校給食について説明した。





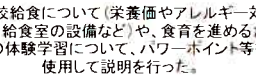
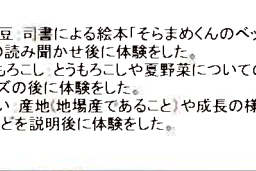

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)				成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ を感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題										
南浦和小学 校	給食集会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 本校児童 709人	実施日 2019年1月21日(火) 場所 南浦和小学校 内容 郷土料理・調理器具・世界の給食についての新聞作り、調理員さんの紹介、クイズ、感謝の言葉等。	残さず給食を食べようと心がける児童が増えた。調理員さんに感謝の気持ちをもつことができた。郷土料理・世界の料理を学ぶことができた。また、家庭科の学習を深めることができた。	委員会の年間回数がかざられているため、計画的に準備する必要がある。	
南浦和小学 校	児童が考えた給食の提供	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全教職員 760人	実施日 2020年1月22日(水)～1月24日(金) 場所 南浦和小学校 内容 家庭科の授業で考えた献立を提供する。	児童が考案した献立を提供することにより、家庭科の学習がより深まった。	価格、作業工程、アレルギー等を考慮して献立を考えることが難しい。	
浦和別所小 学校	体験活動	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 1年169人 3年190人	実施日 ①2019年5月29日(水)、 ②2019年6月27日(木)、 ③2019年7月8日(月) 場所 浦和別所小学校 教室、ピロティ 内容 ①1年生そらまめのさやむき ②1年生とうもろこしの皮むき ③3年生えだまめのさやとり	給食に使用する食材に触れ、食べ物への興味・関心が高まるとともに、給食ができるまでに携わる方々への感謝の心を持つことができた。また、学校全体を通して喫食率が高まった。	発育時期が早まっているため、実施日を検討する必要がある。地産産物を使うとなお良い。	
浦和別所小 学校	児童が考えた給食の提供	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童・ 教職員 1090人	実施日 2020年1月14日(火)、1月15日(水)、 2月5日(水)、2月7日(金) 場所 浦和別所小学校 内容 6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する	全校児童が食べる給食ということを考慮し、テーマを決め栄養価・旬・価格・彩りなど考えたながら立てることができた。6年生が立てた献立ということ喫食率も上がった。	実施日に6年生の欠席児童が多く、実施時期を考慮できると良い。全校児童に6年生が考えた献立ということ伝えるために、児童に配布資料を作ってもらうなど工夫していきたい。	
大谷場東小 学校	給食試食会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 1年生保護者 60人	実施日 令和元年10月29日(火) 場所 多目的室 内容 給食の内容、できるまでの過程や配慮していることなどをパワーポイントを使って説明。給食を試食してもらい、理解を深める。	保護者の学校給食への理解を深めてもらうとともに、家庭での食育の推進を促すことが出来た。	・参加者をさらに増やすことが課題である。	
西浦和小学 校	皮むき体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 3年生 153人	実施日 令和元年7月10日(水) 場所 西浦和小学校 内容 とうもろこしの皮むき体験	食材に興味を持つことができた。調理員に教えてもらうことで、感謝の心も養えた。	食材へ直接触れるため、かぶれる等注意が必要。	
文蔵小学 校	地元シェフによる学校給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全児童生 とその保護者	実施日 2019年11月25日(月) 場所 文蔵小学校 ランチルーム 内容 「パレスホテル大宮」の八田英昭シェフを迎え、「シェフ給食」を提供し、児童と会食する。	・シェフに地元でとれた野菜を使ったメニューを考案し、給食として提供することで、地産地消を体感し、また、食のマンナーや感謝する心を育むことができた。児童や保護者が食への関心を高める良い機会となった。	・シェフとの日程や打ち合わせなどの調整が大変だった。また、朝会や感謝の会などの準備に時間がかかってしまった。もう少し、簡素化することで実施しやすくなると思われる。	

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)








担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)										成果	課題	
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									成果	課題					
文蔵小学校	体験活動を取り入れた食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象:1,2年生	実施日 ①2019年5月13日(金)、②6月6日(木)、③7月4日(水)、④12月5日(木)、 場所 文蔵小学校 教室 内容 ①さやえんどうの皮むき ②そらまめの皮むき ③とうもろこしの皮むき ④くわいの芽とり	・体験活動を通して、食べ物へ興味・関心を持つことができ、児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。	・体験する野菜も地場産物だとと思われる。	・グリーンピースの苦手な児童も、給食に自分でむいた「グリーンピースごはん」が登場したときは、嬉しそうに頑張って食べていた。 ・「くわいの芽とり」では、初めてくわいを見る児童も多く、形状や味にとっても興味を持って取り組んでいた。 ・「とうもろこしの皮むき」では、とれたてのとうもろこしの美味しさを全児童に給食で提供することができた。
沼影小学校	おはなし給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 本校児童 実施回数 6回 参加者 1190人(職員含)	実施日 2019年10月中の6日間 場所 沼影小学校 内容 学校図書館にある本に出てくる料理や食材を使った献立を実施した。	・実施日の平均残食率 1.7% ・10月の図書貸出数 5560冊 ・おはなし給食の題材にした本を読みに来る児童が増加した。	・全員が食べられるようにアレルギー等に配慮した料理やレシピを考えることが難しい。	・図書集会では、おはなし給食の題材にした絵本の児童による読み聞かせや、おはなし給食の宣伝、紹介などを行った。
大谷口小学校	グリーンピースのさわむき	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象:1年生、特別支援学級 118人	実施日 5月14日 場所 教室 内容 グリンピースのさわむきを行う。	食材に触れる体験を通じて、食べ物と作ってくれる人に感謝の心を持つことができた。	5月にグリーンピースの使用ができるかどうか検討が必要。運動会の練習と重なってしまい、時間を確保するのが苦労した。	いつも残している児童も食べられている児童が多かった。
大谷口小学校	とうもろこしの皮むき	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象:2年生、特別支援学級 123人	実施日 7月9日 場所 教室 内容 とうもろこしの皮むきを行う。	食材に触れる体験を通じて、食べ物と作ってくれる人に感謝の心を持つことができた。生活科の夏野菜の学習と重なって理解が深まった。		給食の蒸しとうもろこし、よく食べていた。
大谷口小学校	くわいの芽取り	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象:1年生、特別支援学級 118人	実施日 12月17日 場所 教室 内容 くわいの芽取りを行う。	食材に触れる体験を通じて、食べ物と作ってくれる人に感謝の心を持つことができた。		12月に2回くわいを出したため、本校ではくわいが好きな子どもが多い
浦和大里小学校	野菜の下処理体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象:1,2,3,4年生 1年155人 2年140人 3年153人	実施日 2019年5月-7月 場所 各教室 内容 グリンピース・そら豆・とうもろこしのさわむきや皮むき	野菜を使用した給食の残菜が減った。 農家や調理する人の苦勞を知り、食べ物を大切にすることと感謝の気持ちを育むことができた。	体験学習に使用する食材の選定や安定した仕入れが難しい。 予定よりも時間がかかってしまった。	
浦和大里小学校	図書コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全児童 880人	実施日 2019年11月 場所 各教室 内容 読書週間に合わせて、図書委員の児童が選んだ本に出てくる料理を給食で再現する。	給食と図書のコラボにより、喫食率と本の貸し出し率の増加につながった。	食べたいものが出てくる本を探ることが主となってしまった。	








さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など				
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)					成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題										
向小学校	皮むき体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 0人	実施日:2019年 5月17日 6月14日 7月9日 場所 各教室 内容 どうもこし、グリーンピース、そら豆の皮むき			
協働—	(新規)	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
向小学校	児童の考えた給食の提供	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 0人	実施日 2020年1月 場所 各教室 内容 6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、大切な人に食べさせたい給食を考える。各クラスより献立を選び給食で提供する。選ばれた児童は、給食放送で自分が考えた献立の説明を行う。			
協働—	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
辻南小学校	給食試食会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 1年生保護者 48人	実施日 令和元年9月6日 場所 辻南小学校 内容 給食の参観、給食についての説明、給食の試食	学校給食の意義や実際に食べることによって、給食に対する理解を深めてもらうことができた。	時間が限られているので参観の時間と試食の時間のバランスが難しい。	
協働—	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
三室小学校	本とのコラボ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童	実施日:2019年10月 場所:各教室 内容:絵本に出てくる食べ物を再現して給食に取り入れた。「ルルとララのキラキラゼリー」からフルーツゼリー 10月1日 「せかいいちおいしいスープ」からスープ 10月3日 「給食番長」からカレーとひじきのサラダ 10月10日 「男子☆弁当部」から厚焼き卵 10月11日 「つるばら村のパンやさん」からはちみつパン 10月31日	図書室前に秋の読書月間おはなし給食コーナーを設け、給食の盛り付けの写真と共に絵本を紹介したことで食と読書への関心がより高まった。	使用した絵本の読み聞かせなどをできるとなおよかった。	
協働—	(継続)	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
三室小学校	体験活動を取り入れた食育の推進	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 1～4年	実施日 2019年5月～7月 場所 各教室 内容 グリンピースのさやだし(2年生) 5月10日 そらまめのさやだし(3年生) 6月4日 トウモロコシの皮むき(1年生) 7月9日 枝豆の枝からとりはずし(4年生) 7月16日	給食の食材に触れることにより、苦手なものでも食べてみようという気持ちをもつことができた。生産者や給食を作る調理員さんへの感謝の気持ちが高まった。	特に無し	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
原山小学校	児童のおすすめ献立給食の提供	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全児童 728人	実施日 2020年2月上旬 内容 5・6年生の家庭科の学習との連携を図り、バランスの取れたおおすすめ献立を考案。各クラス1名選出し、実際に給食にて提供。また、選出された児童は、そのメニューについて、給食の時間にテレビ放送で説明をした。	給食の献立を考えるという目的意識をもち、進んで学習に取り組むことができ、栄養バランスについての理解を深めることができた。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
野田小学校	絵本とのコラボ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 本校児童 156人 【交流給食】 図書委員10名 図書ボランティア6名	実施日 2019年11月7日 場所 各教室、交流は図書室 内容 学校図書館にある絵本に出てくる料理を給食で提供。 「かぼちゃプリン」(ぐりとぐらとすみれちゃん より) 図書委員と図書ボランティアは図書室で交流給食。	絵本に出てくる料理を、実際に目で見ても食べて、該当する絵本の読み聞かせ会を開催したりすることで、児童の食と読書への関心が高まった。	児童への意識付けが不足していた。食べてみたい料理を児童に考えてもらったり、事前に読み聞かせ会を開いたりすることで、より関心を高めることができた。と考える。	
協働—	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—					

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)					成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもち	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容				成果	課題										
大牧小学校	郷土料理の日	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全児童 544人 年5回	実施日 食育の日(毎月19日) 場所 各教室 内容 各県の郷土料理を提供 プリント配付(県の特徴、特産品、郷土料理など)	各県の特産品や食文化を紹介することで、食への興味関心が高まった。各地の食文化を知ることができた。	全国各地の料理を実施したが、施設設備、人員により、提供する料理に制約がある。	 <p>9月 ひろしまけん さいとうりょうり 広島県の郷土料理 *ももごはん *ワニのたつたあげ *レモンあえ</p>	
大牧小学校	交流給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全児童 544人 年5回	実施日 6月・10月・11月・2月・3月 場所 ランチルーム・各教室 内容 兄弟学級や縦割り班での会食	ランチルーム(和室、洋室)での会食を楽しみにしている。異学年との交流で互いを思いやり、好ましい人間関係を育てることができた。苦手な食べ物も積極的に食べようとする姿が見られた。			
大牧小学校	児童の考えた給食の提供	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全児童 544人 年5回	実施日 3月 場所 各教室 内容 5・6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、5年生が夢のみそ汁、6年生が夢の給食を考えた。学年1点の代表作品を3月の給食で提供。	家庭科の学習と連携して、献立をたてることで、栄養のバランスの良い食事について理解が深まった。実際に給食に出るといことは、児童にとって魅力的で生き生きと学習に取り組んでいた。各クラスの代表作品を掲示したところ、他学年児童から「おいしそう」「楽しみたい」などの声があった。			
芝原小学校	本とのコラボ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全児童 794人 2回	実施日 10月21日(月)、10月28日(月) 内容 本に出てくる給食を再現し、給食の時間にテレビ放送で本の読み聞かせを行った。10月21日『やきざかなのろい』(塚本やすし ホボラ社)、10月28日『ワタナベさん』(北村直子 偕成社)	本に出てくる料理を実際に目で見て、味わうことにより、食と読書への関心が高まった。	事前に教室に「ランチタイムしばはら」(お知らせ)を配付して、本の内容等を伝えておく、各学級での指導をより効果的に行うことができる。		
美園北小学校	給食試食会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 1年児童の 保護者 138人	実施日 2019.10.30(水) 場所 美園北小学校 内容 給食や児童期の食事についての講話と給食の試食	「給食への理解が深まった」「子供の食事について気をつけようと思った」などの感想が多く聞かれた。	児童が片付けている様子も見学できると良い。写真や映像で紹介することを検討する。		
美園北小学校	野菜の下処理体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 1, 2, 3年生 ○全3回 1年生138人 2年生109人 3年生106人	実施日 2019.6.10(月)、7.10(水)、12.16(月) 場所 美園北小学校 内容 給食で使用するそら豆、とうもろこし、クワイの下処理体験	野菜を使用した給食の残菜が減った。 農家や調理する人の苦勞を知り、食べ物を大切にすることと感謝の気持ちを育むことができた。	収穫時期が天候に左右されるため、間際にならないと実施日を定めることが難しい。	そら豆 司書による絵本「そらまめくんのベッド」の読み聞かせ後に体験をした。とうもろこし とうもろこしや夏野菜についてのクイズの後に体験をした。くわい 産地(地場産であること)や成長の様子などを説明後に体験をした。	
太田小学校	世界の料理	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 全教職員 675人	実施日 毎月1回 場所 学校 内容 世界各地の料理を給食で提供する。	世界の料理を味わうだけでなく、見た目や香りなどの五感からも知ることができた。	主食、主菜、副菜の全てを、その国の料理でそろえることが難しい。		

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)


担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題												
太田小学校	郷土料理	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 全教職員 675人	実施日 毎月1回以上 場所 学校 内容 日本各地の郷土料理を給食で提供する。	各地の郷土料理を味だけでなく、見た目や香りなどの五感からも知ることができた。	主食、主菜、副菜の全てを、その地域の料理でそろえることが難しい。	
太田小学校	6年生の給食ウィーク	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 全教職員 675人	実施日 2020年2月17日(月)～19日(水) 場所 学校 内容 6年生が、家庭科「くふうしようおいしい食事」で考えた献立を給食で提供する。	給食に出る前提で考えることで、価格や組み合わせも考慮して献立が考えられた。	ごはんと味噌汁を使った、本来の授業に見合っていない。	
太田小学校	空豆のさやむき体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 2年生 96人	実施日 2019年6月10日(月) 場所 教室 内容 空豆のさやむきと食育を行った。むいた空豆は給食で提供した。	子どもが苦手な空豆も、自分たちでむくと味わって残さずに食べられていた。	1時間(45分)の確保が難しい。	
太田小学校	とうもろこしの皮むき体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 1年生 83人	実施日 2019年7月1日(月) 場所 教室 内容 とうもろこしの皮をむかせて給食でとうもろこしを提供する。	普段、黄色いとうもろこししか見ていない子どもたちは、本来の皮とひげがついている姿に感動していた。	1時間(45分)の確保が難しい。	
川通小学校	交歓給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 と全職員 165人	実施日 2020年2月13日 場所 1年～6年の教室 内容 異学年交流による会食	普段と違う顔ぶれでの会食に、会話が進み楽しい時間を過ごせた。異学年交流ということで、その場所での最上級生がリーダーシップをとって会食を進めてくれた。	感染症の流行が心配な時期なので、実施日を早めた方が良い。低学年のクラスの配膳に手がかかるので、早めの指導が必要である。	1年と6年の異学年交流会食 (担当の職員も各教室に2名ほど入る) 後ろの児童たちはおかわりじゃんけん大会中 
川通小学校	調理員との会食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 135人	実施日 2020年1月24～31日 場所 各教室 内容 調理員との会食と片付け指導	給食週間中のイベントとして、調理員との会食と、きれいな片付け強化週間を同時に行った。調理員に直接話を聞くことで、残食や乱雑な取り扱いについて、改めて考える事ができたようだ。	給食週間にやるのが効果的だが、やはり感染症流行の時期なので不安がある。実際に前年は時期をずらして実施している。	会食後の記念撮影の様子 (2年教室にて、調理員2名児童14名) 
川通小学校	とうもろこし皮むき体験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 3年生 20人	実施日 2019年7月3日 場所 3年教室 内容 当日の「茹でとうもろこし」の下処理として皮むき体験	学区内に農家が多いので、皮むきをしたことのない児童はほとんどいなかったが、友達と一緒にとうもろこしを剥く作業は楽しかったようで、残食は0だった。	朝の15分で行うので、時間内に終わらせることが求められる。あまり説明に時間は取れないので事前指導が必要だ。	とうもろこし皮むき実践中 1人あたり2～3本の割り当てになった 

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題											
川通小学校	空豆のさやむき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 2年児童 15人	実施日 2019年6月24日 場所 2年教室 内容 当日の「空豆の塩茹」の下処理としてさやむき体験	絵本の「空豆くんのベッド」を事前に紹介してから体験させたので、内側の感触に興味を持って取り組んでくれた。豆は嫌いな児童が多いが、自らむいた故に、食べる努力も見られ、残食が少なかった。	指で豆のさやをむく際に力が足りず苦勞する様子が見られた。個人差が大きく、様子を見つつ、適切なフォローを入れられるようにしたい。	 空豆のさやむき実践中 (そらまめの内側の感触を楽しんでいる所)
川通小学校	グリーンピースのさやむき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 1年児童 17人	実施日 2019年5月29日 場所 1年教室 内容 当日の「GPご飯」の下処理としてさやむき体験	鞘むきは作業として楽しかったようだ。残念ながら残食はあったが、豆がどのように収穫されるか理解できた。また、時期によっては豆は野菜として扱われる事も理解してもらえた。	グリーンピースの収穫時期が非常に不安定なので、予定が立てにくい。また、価格が高めなのであまりたくさん用意できない。	 グリーンピースのさやむき体験 (小さい粒なので転がらないよう真剣)
川通小学校	米作り体験と給食利用	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 5年児童 (全校生徒) 28人 (135人)	実施日 2019年5月～11月 場所 学校ファーム(教室) 内容 米の生産体験(収穫物の給食使用)	地域の方の協力で120kgもの米を収穫できた。田植えから刈入れまでの必要な努力を、身をもって知ることができ、食物に対する感謝の心が育った。また、とても美味しいお米ができたので、給食に3割ほど使わせてもらうことで、残量が減った。	地域の農家の方の協力が無ければできない取組なので、協力していただけるよう働きかけていく。	 学校近くの田んぼで米作り体験 (奥に見えるのが学校です)
川通小学校	ふれあい給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 (地元協力者) 135人 (18人)	実施日 2019年12月4日 場所 体育館のち教室 内容 日頃の学校への協力のお礼と会食	学校に協力してくださる地域の方を招いて、感謝の会を行うことで、学校生活が地域に支えられて成り立っていることを感じられたようだ。会食においても、自分の祖父母がそれ以上年配の方との会食は、食事マナー等を学ぶ上で良い経験となった。	参加者をなるべく早く把握し、喫食対象者と子どもたちの双方が食べやすく、会話の弾むような献立にするよう心がける。	 なのはな学級での会食の様子 (児童4名に対して2名のお客様)
川通小学校	なかよし給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 135人	実施日 2019年6月27日 場所 8か所の教室 内容 縦割りの「なかよし班」にわかれて会食	給食を、児童自らが持参した弁当箱に詰めるのだが、個性的な盛り付けにしたり楽しんで食べられた。後片付けでも上級生が率先して動いたりして、タイトルのように「なかよし」度がアップした。	給食後はそのままのグループで外遊びになるので、しっかり後片付けや歯磨きをするよう指導する必要がある。	 車座になって会食 (縦割り班全8班にわかれてます)
川通小学校	図書館コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 135人	実施日 2019年10月9日 場所 各教室 内容 司書の先生がお勧めする絵本の中に出てくる美味しそうメニューの再現	絵本中の登場人物が美味しそうに食べているメニューであったため、興味を持って食べてくれた。また、自分の想像していた味付けとどう違うかなどの話が弾み、絵本の貸出数も増えた。	再現可能な献立か、具体的なレシピがあるかなど、司書・調理員などで協議が必要である。	 図書委員会による読み聞かせ (今年はお団子スープの絵本です)
川通小学校	防災給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童 135人	実施日 2019年8月29日・11月18日 2020年1月31日 場所 各教室 内容 市の防災倉庫から出る備蓄食糧の放出品を利用した献立と、アルファ化米が水で戻る過程の観察。	備蓄食糧の混ぜご飯とビスケットを試食することで、有事への備えの大切さを実感できたようだ。アルファ化米が水を吸って食べられるようになるまでを見ることで、保存食に興味を持った児童もいた。	給食に使うには少し味が濃い混ぜご飯と、おやつにも感じられるビスケットは、他のおかずと組み合わせにくい。	 避難訓練(けむり体験) この後の給食で備蓄食糧の試食


○中学校・特別支援学校


【西 区】	・ 馬宮中学校	・ 大宮西中学校	・ 植水中学校	・ 土屋中学校
【北 区】	・ 宮原中学校	・ 泰平中学校		
【大宮区】	・ 大宮北中学校			
【見沼区】	・ 春里中学校	・ 七里中学校		
【中央区】	・ 与野西中学校	・ 与野南中学校		
【桜 区】	・ 土合中学校			
【浦和区】	・ 木崎中学校	・ 浦和中学校		
【南 区】	・ 岸中学校	・ 大谷場中学校	・ 内谷中学校	
【緑 区】	・ 美園中学校	・ 尾間木中学校	・ さくら草特別支援学校	
【岩槻区】	・ 岩槻中学校	・ 川通中学校	・ 城南中学校	・ 城北中学校




※小学校の食育取組状況は P39～53

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)		成果										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ をこめて	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題													
馬宮中学校	新規	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 2学年生徒 145人	実施日 令和元年10月～11月 場所 馬宮中学校 2学年教室 内容 バランスの取れた献立作成について、給食の献立を例に取り上げ、1日のうちの夕食の1食の献立作成を行った。	給食の献立をモデルとして栄養バランスや献立の統一感を整える献立作成について、理解を深めることが出来た。作成した献立の中からバランスの取れ優れた献立について、給食の献立に取り入れた。	献立作成についての理解度については、個人差が激しい。家庭科の授業だけに留まらず、毎日の給食の献立内容や、献立表、食育だより、放送資料などの充実をはかることで、食への興味関心や理解を深めるように努力したい。	
大宮西中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 保護者 参加者 36人	実施日 2019年6月19日 場所 3年教室 内容 学校給食について、プリントで紹介し、給食の試食も実施	保護者に給食や中学生の食生活の特徴や必要な栄養について理解を得るよい機会となった。	特になし	
大宮西中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 第1学年全生徒 80人	実施日 2学期、3学期 場所 大宮西中学校 内容 2年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に食事の内容について学ぶ中で、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の給食に対する興味関心が高まり、残食減少につながった。	特になし	
植水中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 植水中PTA 25人	実施日 令和元年6月11日 場所 さいたま市植水中学校 内容 給食の試食。配膳体験。給食ができるまでの説明。生徒の給食の様子。	参加者に生徒が毎日とっている給食ができるまでについて理解していただくことができた。	時間の制約があるが、「給食の栄養価について理解を図る」「生徒の配膳の様子を見学していただく」など、工夫をしていきたい。	
土屋中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 保護者 20人	実施日 2019年5月21日 場所 3年教室 内容 中学生の食事、学校給食について、パワーポイントで紹介し、給食の試食も実施	保護者に給食や中学生の食生活の特徴や必要な栄養について理解を得るよい機会となった。	参加者が少なく、多くの保護者に対して実施できなかったこと。	
土屋中学校	授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 2学年生徒 129人	実施日 2019年6月～2020年1月 場所 家庭科調理室、コンピュータ室 内容 家庭科教諭と栄養教諭TTIによる授業食生活と自立 食事の計画 調理しよう 肉の調理・魚の調理・野菜の調理	中学生に必要な栄養、調理の計画を食品群別摂取量を踏まえて、学習できた。肉、魚、野菜それぞれの特徴や調理上の取扱いや調理実習を通して、安全な調理方法や調理の基本を学習できた。	生徒は、食事と健康は、密接にかかわっていることは理解できたが、給食で、苦手な野菜料理を残さず食べることは、実践できていない生徒も多数いる。	調理実習では、箸の手開きを行い、箸のムニエルの調理を行った。上手にできた生徒は、箸の手開きの苦手な生徒に教えるなど、協力していた。生徒にとって、効率的で衛生的な調理、美味しい料理を自ら作る作業は、食生活と自立という家庭科の授業でとても大切なことだと家庭科教員と栄養教諭は、共に感じた。
宮原中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 生徒保護者 72人	実施日 令和元年10月16日(水) 場所 宮原中学校 内容 給食概要(栄養管理・衛生管理・調理等)についての講和、給食の試食、配膳体験。	参加者に向けて、普段どの様なことに気を付けて給食を作っているかなどを説明することで、本校の給食に対する理解を深めることができた。来年度も同様に実施していきたい。		

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題											
泰平中学校	つぼみの給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 全校生徒・教職員 493人	実施日 2019年10月 場所 泰平中学校 内容 つぼみの日に合わせ、本校に入学することになる泰平小学校・見沼小学校と、共通内容の献立を実施。当日の放送や事前の配布物等で告知し、日字実の「つぼみの日」を盛り上げる。	次年度入学してくる生徒と同じものを食べて、つぼみの日を迎えることができ、一体感が生まれた。	今回は、例年実施していた献立で実施したので、今後小中で献立を考案し新メニューも実施していきたい。	
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—			
泰平中学校	給食の献立を考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 中学一年生 150人	実施日 2019年・10月 場所 泰平中学校 内容 一年生の家庭科の授業の中で、学校栄養士とITの授業を行い、中学校の給食の献立を考える。実際に考えた献立の中から、実際の給食の献立として実施する。	普段食べている給食を自分たちで考えるとあって、授業・給食実施の当日共に関心が高かった。	献立を考えるのに使える時間が短いので、事前学習や長期休業中の課題などをうまく利用したい。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—			
大宮北中学校	1年生家庭科栄養バランスの良い1日の献立作り	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 1年生 99人	実施日 1学期 場所 教室 内容 小学校で学んできた栄養について振り返り、さらに深く食品や栄養について学習し、中学生の1日に必要な栄養を賄えるような献立作成を実施した。	成長期に必要な栄養について考えることができ、好き嫌いだけでなくバランスを考えた食生活について関心を持つようになった。	意識は持つようになったが、給食を見ると、野菜や海藻などの残食率が高かった。給食と連携をとるなど、より効果的な学習方法を取り入れたい。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—			
大宮北中学校	生徒会朝礼「かぜをひかない体を食事から作ろう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 全校生徒 317人	実施日 1月21日 場所 体育館 内容 給食委員会主催の朝礼で、風邪予防のための食材や食生活等を紹介した。また、給食委員が考えた給食献立(栄養職員監修)を発表し2月の給食に取り入れるようにした。	冬が旬の野菜などの食材を知ることができ、風邪やインフルエンザ対策にも役立つことが理解できた。	給食週間に合わせての発表なので、より給食についてのアピールをしたい。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—			
大宮北中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 在校生保護者 29人	実施日 1月16日 場所 教室 内容 給食の試食。当日使用した地場産米と給食についての説明。	保護者に学校給食を理解していただく良い機会となった。	給食室での調理の様子や、地場産物の紹介をパワーポイントなどで紹介し、より理解を深めたい。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—			
春里中学校	PTA食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 PTA 40人	実施日 2020年2月3日(月) 場所 中学校 家庭科室(調理室) 内容 給食の献立を保護者と一緒に調理する。	給食の献立を実際に作ることで、食育に理解してもらい、当日の給食も試食し、家庭での食事にの参考にしてもらった。生徒の食べているメニューが簡単にたくさん作れて楽しかったという感想が多く、好評でした。	調理室で作業できる人数が決まっているので、出席できる人数に限りがある。	(アンケートより) ・思ったより簡単に調理ができた。 ・楽しく調理実習ができて楽しかった。 ・給食も食べられてよかった。 ・簡単にできて、栄養もあるおやつなので、家でも作ってみたい。 ・野菜や果物、豆などを使ったおやつを学べてよかった。
協働○	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—			
七里中学校	防災給食体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上	対象 本校生徒職員 1回 300人	実施日 2019年12月16日(月) 場所 七里中学校 内容 さいたま市の防災備蓄米(アルファ米)の作り方を知るとともに、缶切りの使い方を学び、非常時の知識を得る。	昨年の反省を生かし、お湯を入れる工程から生徒自ら体験することができた。缶切りを使ったことがない生徒が、使えるようになった。	次年度は、生徒の意見を聞き、体験してみたい、学んでみたい防災についての取組を取り入れていけるようにしたい。	生徒アンケートより ・非常食がおいしいことを知った。 ・みんなが興味を持って積極的に取り組むことができた。 ・50人分のご飯を完食できてうれしかった。
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	—			

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)				成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題										
土合中学校	給食試食会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 保護者78人	実施日 2019年6月28日 場所 図書室 3年生教室 内容 栄養士、給食主任による給食についての講話、試食	学校給食への理解を深め、家庭での食育の推進を促すことができた		
協働	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
土合中学校	給食週間	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校生徒	実施日 2020年1月24日～1月31日 場所 校内 内容 給食集会を行い、給食ができるまでを紹介。調理員さんへの感謝の色紙の作成。リクエスト献立の実施	給食に従事する人への感謝の気持ち、食べられることへの感謝の気持ちを育てるきっかけになった。リクエスト献立を実施することにより、給食への興味関心、残さず食べようという気持ちを促すことができた。		
協働	(新規)	—	—	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
木崎中学校	給食試食会及び説明会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 木崎中学校1年生保護者76人	実施日 2019年6月24日(月) 場所 さいたま市立木崎中学校 内容 給食の試食及び、栄養教諭による給食の説明と講話	保護者の学校給食への理解を深めようと、家庭での食育の推進を促すことが出来た。	昨年度よりも参加者が増えたものの対象者の1/3弱の参加のため、参加者が増えるようさらに呼びかけを行っていく。	
協働				○																			
木崎中学校	給食週間	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 木崎中学校全校生徒792人	実施日 2020年1月23日(木)～31日(木) 場所 さいたま市立木崎中学校 内容 給食委員会を中心に調理員さんへの感謝の色紙の作成	生徒全員で取り組むことにより、一人ひとりが食事ができることへの感謝の気持ちを持つことが出来た。	3年生の私立高校の入試と重なる期間があり、色紙の作成に時間がかかるクラスがあったため、私立入試の時期をずらすなど、落ち着いて取り組める期間を設定していく。	
協働																							
浦和中学校	給食試食会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 在校生保護者78人	実施日 2019年7月6日(土) 場所 浦和中学校 内容 栄養士による食に関する講話 学校給食の意義と普段の生徒の様子について	学校での取組みを紹介しながら実際の給食を試食してもらうことで、保護者の学校給食への理解を深めると共に、生徒の家庭での様子を知るよい情報交換の機会となった。	開催時期が夏期なので、取り扱える食材や衛生面においても実施できる献立の制約が大きい。	
協働	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
浦和中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 第1学年全校生徒80人	実施日 1学期・2学期 場所 浦和中学校 内容 1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ることで、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。	生徒がテーマに沿って考え作成した献立について、調理作業内容とのバランスを考えた献立に反映させることが必要である。	
協働	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
岸中学校	世界味めぐり	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳	対象 全校児童全教職員650人	実施日 毎月1回 場所 学校 内容 世界各地の料理を給食で提供する。 昼のテレビ放送では、給食委員会の生徒がその国の食文化の紹介や料理の説明をする。	世界の料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	食べ慣れない味や、香辛料の臭いが苦手な生徒もいるので、本場の味に近づけることが難しい。	
協働	(継続)			○																			

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題											
尾間木中学校	給食委員会 におけるキャン ペーン活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 生徒 614人	実施日 2019年12月2～5日 場所 各教室 内容 「大人になろう！グッドマナーキャンペーン」 あいさつ・マナー・残菜・片付けのチェックをした。 また、優秀なクラスには表彰を行った。	キャンペーン期間中は、給食 委員会を中心に積極的に声掛 けを行った。普段よりマナー を意識して給食時間を過ご すことができた。残菜が減っ た。	キャンペーン終了後にも、継 続して意識づけしていくこと が課題である。	
さくら草特別 支援学校	食育の日	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 児童生徒3 6人、教職員、保 護者 実施回数 毎月1 回	実施日 毎月19日前後 場所 学校 内容 音楽科と連携し、食材の魅力を伝える	食材の種類を伝えることがで きた。また、各クラスで朝の 会に歌を歌ってくれるなど、 工夫して取り入れることがで きた。	もっと、家庭への啓発を増や せばよかった。	
岩槻中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 在校生保 護者 65人	実施日 2020年1月28日(火) 場所 岩槻中学校 内容 給食の試食、および、学校給食の概要(栄養管 理・衛生管理・調理等)についての講話	給食室の様子をパワーポ イントを使用し、上映すること で、衛生管理や調理の過程 を理解していただくことがで きた。	調理過程を上映した献立と 実際の献立が異なったため、 次回は、リンクするように献 立を検討していきたい。	
岩槻中学校	調理員さん への感謝の 会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 給食委員 32人	実施日 2020年2月20日(木) 場所 岩槻中学校 内容 給食委員会を中心に調理員さんへの感謝と色紙の 作成	食を大切に作る心や、感謝 の心を育てるきっかけとなっ た。	生徒、調理員が関わりあう良 い機会なので、全校生徒が 参加できる機会をもてるよう 検討していきたい。	
川通中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 保護者 年1回 16人	実施日 2019年7月2日(火) 場所 川通中学校 内容 学校給食の内容や給食の調理の様子を保護者 に説明し、給食の試食を行った	保護者に学校給食を理解し ていただく良い機会となっ た	より多くの保護者の方にご参 加いただきたい	参加者感想(アンケートより) ・家ではつづらないような世界の料理や郷土 料理は、家でも話題になります。 ・普段食べない食材を使ってもらえるのは嬉 しいです。 ・給食での手作りデザート子どもが楽しみに しています。お豆のデザートも家で作っ てみようと思います。 ・細かい事まで気にしながら、給食作りをして いることに感動しました。
川通中学校	ITによる食 育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 中学1年 中学2年 中学3年	実施日 以下 1学年 2020年2月19日(水) 2学年 2020年2月13日(木) 3学年 2020年2月20日(木) 場所 川通中学校 内容 朝食の役割、バランスの良い食事と生活リズム 自立した食事、アレルギーについてなど	朝食や生活リズムについて 学ぶことにより、生徒自身の 健康について考える機会に なった	授業で考えた内容を生活習 慣として定着させることが課 題である	授業の感想(アンケートより) ・朝食は、1日の生活においても大事なものだ と知ることができました。バランスの良い食事を とり、自分に合った生活リズムが作れるよ うにしたいです。(1年) ・改めて食生活を見直そうと思っ たし、アレルギーにも気を つけてほしいので感謝したい と思いました。(2年) ・生活習慣を整えることの大切 さを改めて学ぶことができました。 高校生になると給食がなくな るので、栄養バランスを考えて 昼食を取ろうと思います。(3年)
城南中学校	給食委員会 研究発表	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象 全校生徒、 教員 260人	実施日 2020年1月15日、1月24日～30日 場所 本校体育館、各教室 内容 給食委員が「食品ロス」について調べたことを発 表。また、本校の残食状況を11月の給食日誌から分 析し、自分たちでできる改善方法を考え、全校生徒に提案 した。	給食に対する生徒の課題 意識を高めることができた。 実際に委員会より提案され たことを実践するクラスが あった。	課題意識の維持、取組の 継続	

食育の目標「さいたま市5つの『食べる』」

さ 「三食しっかり」食べる

い 「いっしょに楽しく」食べる

た 「確かな目をもって」食べる

ま 「まごころに感謝して」食べる

し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる

さいたま市食育ナビ <http://www.saitamacity-shokuiku.jp/>



食育の基礎知識、食の安全・食中毒、地産地消、学校や保育園の給食レシピ、市の施策・事業など、食育に役立つ情報を発信しています。

発行：令和2年9月
さいたま市食育推進協議会

さいたま市保健福祉局保健部健康増進課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4
TEL:048-829-1294 FAX:048-829-1967

この冊子は300部作成し、1部あたりの作成費用は、192円（概算）です。